

# NAB2019 出展情報②

## グラスバレー

●**ライブプロダクション Catch every moment live** :ライブプロダクションエリアではシステムカメラ LDX 86N、リプレイシステム LiveTouch、プロダクションスイッチャー Kayenne/GV K-Frame X やKula を用いたリモートプロダクションやeSports についてデモを交えて紹介。

●**システムカメラ LDX 86N/86/82 シリーズ** :UHD 3CMOS センサーを搭載し、DPMUltraテクノロジーによる高感度なHD/3G モードやHD 3倍速/6倍速に対応したLDX 86Nをはじめ、HD/3G、HD 3倍速/6倍速対応のLDX 86、ベーシックモデルのLDX 82を出展した。

●**リプレイシステム LiveTouch** :ライブプロダクションにおいて様々なカメラポジションのスローとリプレイを可能にするLiveTouchは、2/3/4/6/8倍速HD スーパースローおよび4Kスローモーションにも対応。タッチスクリーンによる直観的な操作で、HD/3G/4K映像クリップのハイライト作成やトランジションを含むプレイリストの送らまでを容易にコントロールできる。

●**プロダクションスイッチャー Kayenne/GV K-FrameX** :3G/IPで192入力/96出力、9M/Eに対応するGV K-Frame Xは、リアI/Oモジュールの選択によりSDIおよびIP(10/25GbE)に対応。新たにラインナップされたコンバージョンI/Oモジュールにより4K/3G/HD Up/Down Cross変換の他、12G-SDI/Quad 3G-SDIの相互変換が可能。Kayenneパネルとの組み合わせにより、従来のHD制作と同等の使い勝手を4K HDR/IP環境でも実現する。

●**プロダクションスイッチャー GV Korona/K-Frame V シリーズ** :最大3M/E+2VPE(ビデオプロセスエンジン)、20フルキーヤー、2D



DPM、32GB イメージストア、RAM レコーダー、32x16 I/O 等のパワフルな機能を搭載し、4K制作にも対応。コントロールパネルは1.3M/Eの3タイプをラインナップし、オプションのDPMモジュールによるiDPM(2D/3D DVE)機能の他、IP I/OモジュールやコンバージョンI/OモジュールによりIP/12G-SDIにも対応する。

●**プロダクションスイッチャー Kahuna 4600/6400/9800 シリーズ+Maverik パネル** :SD/HD/4K UHD、HDR/SDR、SDI およびIP、これらのハイブリッドな環境下でのライブ制作に必要な機能をすべて提供できるライブプロダクションスイッチャー。優れたリダundancyで高い可用性を誇り、最大120入力/64出力、24M/E、2D/2.5D DVE付 48キーヤーの他、4チャンネル3D DVEも搭載。4K制作にも対応し、HDR/SDR変換機能を含むFormatFusion4により複数のフォーマットが混在した制作も可能。I/Oモジュールにより50GbE IPや12G-SDIの入出力にも対応する。

●**プロダクションスイッチャー Kula シリーズ** :Kahunaシリーズの強力な機能、操作性、信頼性を継承した2RUサイズのエントリーレベルプロダクションスイッチャー。最大3M/E、32キーヤー、2.5D DVE、16GB Clip Store/Clip Transition、36入力/12出力に加え入出力アサイン可能な6ポートおよびマルチビューワーを搭載し、4K制作にも対応。あらゆるフォーマット変換が可能なFormatFusion3を搭載し大型機に引けを取らない機能を提供。16ボタン19インチ幅から24ボタンサイズの専用パネルの他、一部のMaverikパネルモジュールも利用可能。モデルによりIPや12G-SDIにも対応する。

●**ニュース News everywhere as it happens** :ニュース/メディアワークフローエリアでは、RioとEDIUSの最新バージョンを紹介。カラー



& フィニッシングおよび編集システムのRioは今年から開発体制を一新、拠点を従来のイギリスニューベリーから日本の神戸に移し、今まで以上にハイエンドポストプロダクション市場に貢献すべく進化を続けていく。

●**スタジオオートメーション Ignite** :ニューススタジオで使用される機器を総合的に制御することが可能なソリューション。

●**ワークフローマネージメント GV STRATUS/GV I/O/GO!** :報道やスポーツ中継からOTTやソーシャルメディアも含めた送らまでの様々なケースで活用できるフルセットのアプリケーションフレームワーク。

●**エディティングシステム EDIUS 9/EDIUS Cloud/Rio** :4K HDRに完全対応した圧倒的なリアルタイム編集を誇る「EDIUS 9」の最新バージョンを先行して紹介。世界中のユーザーからのリクエストをもとに完成した最新バージョンで、ブース内ではEDIUSとRioを使用したHDR編集のワークフロー展示に加え、クラウドサービスとシームレスに連携した「EDIUS Cloud」の新機能紹介も行った。

●**デジタルレコーダー/プレーヤー T2 4K** :エントリーモデルのExpressを加え3モデルとなったT2 4Kシリーズ4K(DCI/UHD)/HD/SD対応デジタルディスクレコーダーは、イベント、放送、編集の現場で必要とされる機能をハードな使用に堪える堅牢さとともに凝縮。Quad 3G-SDI I/Oを備え、4Kだけでなく3G/HDにも対応。3G/HD使用時には3チャンネル出力も可能となった。

●**その他、プレイアウト. Flexible, agile playout /クラウドベースプレイアウト GV Flex /ネットワーク Reliable, advanced networking /IP/SDIハイブリッドルーティング/IPモニタリング & コントロール/ペリフェラル・コンバージョン/ファイバートランスポートTelecastファミリー など**



## Vitec Group

Vinten, sachtler, oconnor, Manfrotto, JOBY などの三脚ブランドを中心に、ANTON BAUER, autoscript, Litepanels, TERADEK などの多岐のジャンルにわたる製品を各ブランド毎に設けたブースにて展示紹介を行った。特に昨年のNABにて発表した「Flowtech」は、Vinten と sachtler が両ブランド共通にてカーボンファイバー製の脚を発表したものであるが、本年も独立したブースを設ける程の力の入れようであった。

昨年の4月より発売している「Flowtech 75」や昨年のIBCにて発表された100mmヘッドバージョンの「Flowtech 100」は、革新的なデザインは勿論のことながら、スプレッダーレスでも使用できるヒンジロックシステム、素早いセットアップを可能にしたクイックリリースブレーキ、そして雨風や泥にも強い堅牢な耐候仕様も引き継いでいる。ワンタッチでブレーキ操作できるクイックリリースレバー、優れた耐久性、ヒンジロックメカニズムなど、人気モデルの「Flowtech 75」の基本的な機能はそのまま引き継いでいる。

「Litepanels」は、映像撮影の現場を知り尽くしていた5人の照明技師により設立された、アメリカのプロフェッショナル向けLEDライトブランド。光源としてのLEDの将来性に



ち早く着目し、2001年の創業以来ハリウッドの厳しい評価に応えるライトの開発、提供を続けている。Litepanels は高輝度・高CRIを誇るフラットパネル型LEDライトを中心に、フレネルタイプのスタジオ向け大型ライトから乾電池駆動可能なモバイルライトキット、防塵・防滴・ヘビーデューティポータブルライトまで、バラエティに富んだ製品ラインナップを展開している。高い基本性能に加え、LED



Litepanels GEMINI 1X1

ライトの特長である低消費電力・低発熱・小型軽量を兼ね備えた Litepanels 製品群は、次世代の照明システムを代表する付加価値を備えたLED



「Autoscript」は、プロンプターシステムのマーケットリーダーとして全世界にソリューションを提供する、イギリスのブランド。プロンプターとは、ニュース番組などで原稿の読み上げを行うアナウンサーが、視線をビデオカメラから外すことなく視聴者に向かっていられるようにするために使用される、ハーフミラーを内蔵した機器であるが、設置性と利便性を高める豊富なアクセサリや、軽量化と高輝度化が進んだプロンプターモニター、視認性を高めたプレビュー画像表示用モニターなどを組み合わせ、個々のニーズにマッチしたシステムを構築することができる。

スタジオ環境とユーザーニーズを熟知した開発者がその思想を盛り込んだAutoscript 製品は、専用システムに求められる機能・性能と、汎用システムが持つコストパフォーマンスの高さを兼ね備えている。

## モガミ電線

米国における同社製品の販売代理店である Marshall ブースにて出展。製造元のモガミ電線のケーブルにおける優れた設計・製造技術とも相俟って、定評のある柔軟かつ



機械的強度に優れたケーブルや、基礎・基本的な工学技術に於いて同業他社を凌駕する技術情報の蓄積を活かして、同業他社製品と差別化した付加価値の高い製品作りをめざしている。そのため同社製品は日本国内のメジャーレコーディングスタジオはもとより、米国においてもシェアを確保し、既に著名なスタジオ、ハリウッド、放送局等でも大量に採用されている。同社ではこのような高度な技術を活かし、本年のNABにおいても、イーサネットケーブル、BNCコネクタ付き同軸ケーブル、110Ω AES/EBU デジタルオーディオ・マルチケーブル、吊りマイクケーブル、0.226mm<sup>2</sup> ステレオマイクケーブル、高解像度チューブ・マイクロフォン・ケーブルなどのオリジナル製品を紹介した。

## MOGAMI MICROPHONE CABLE

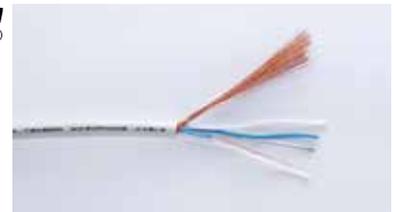
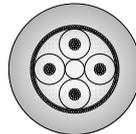
モガミ マイク・ケーブル

### HIGH TENSION AERIAL MIC. CABLES

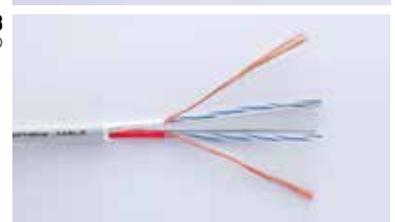
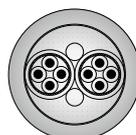
## 吊りマイクケーブル

モノラル版には切断荷重 830N のステンレス・ワイヤロープを1本、ステレオ版には2本(計 1,660N)を加えた吊りマイクケーブルです。**広範囲に利用できるように総てカッド(4芯シールド)構造に設計されています。**

Part No.3177 (MONAURAL)



Part No.3178 (STEREO)



お問い合わせ

モガミ電線株式会社

モガミ電線株式会社

PHONE: (0263) 52 0131

E-MAIL: sales@mogami-wire.co.jp URL: http://www.mogami-wire.co.jp

## 伊藤忠ケーブルシステム 取扱い各社

### ■IHSE 社

IP-KVM では実現できない安定した動作と遅延を感じさせない優れた操作性により、微細な操作が要求される映像編集やMA を中心に、日本国内でも豊富な納入実績を誇るデジタルKVM システム、IHSE。遠距離のスイッチ間をIP ネットワーク越しに接続可能にする IP Gateway 機能や、各CPU とコンソールの接続状況の常時モニタリングを可能にする TeraViewer 機能、そしてe-Sports での使用を念頭に置いた 32:9ウルトラワイドディスプレイ(3840 x 1080 @120Hz)や1920 x1080 @ 240Hz への対応など、従来の KVM システムの枠に留まらない、トータル



IHSE 社ブース

ソリューションを紹介。Avid やVizrt、EVS、LAWO 等、パートナーブースとのコラボレーション展示も行われ、各社製品との高い親和性についても確認できる。

### ■Facilis Technology, Inc.

Avid Media Composer のプロジェクト共有をネイティブでサポートし、Avid NEXIS と同様の操作環境で4K UHD マルチストリーム編集やフル4K DPX ワークフローにも対応するウルトラハイパフォーマンス共有ストレージ、TerraBlock。サードパーティ製のソフトウェアやユーザー数に応じたライセンスを購入することなく、またメタデータコントローラーや複雑なネットワーク設計を必要とせずに、Apple OS X/Windows/Linux など、異なる OS プラットフォームから同一ボリュームにアクセスする事が可能。仮想ボリュームのフラグメンテーションに対する許容レベルが高いことも特徴の一つで、ボリュームがほぼ100%フル容量での使用においても変わらないパフォーマンスを発揮できるので、運用コスト面で大きなメリットを生み出す。NAB で新たに発表されたver.7.2 では、マネージメントソフトウェアWeb Console と簡易MAM



Facilis Technology 社ブース

ツールFastTracker に新機能が追加され、従来よりも格段に使い易いSAN ソリューションの構築が可能となる。

### ■Venera Technologies 社

世界で150 サイト以上の導入実績を誇る Venera Technologies 社のファイルベース QC システム、Pulsar。豊富な対応フォーマットや、柔軟に個別の設定が可能な解析プレート機能、オペレータの省力化をサポートする各種自動化機能の装備など、ハイエンドQC と同等の機能を有しながら費用対効果の高い自動QC ツール。コンテンツファイルのコンテンツ、メタデータ、AV フォーマット、その他品質パラメータを、解析プレートに従って高速に自動品質評価。クラウドでの使用に対応した Quasar もラインナップされている。

## イノテック 取扱い各社

### ■Interra Systems 社

Live/VOD コンテンツのインジェストから配信までのストリーミングメディアのビデオ品質検査&QoE 監視ソリューション

- ・BATON ABR デモ : 高品質のストリームビデオを配信するための業界ベンチマークをセット。配信特有の検査や包括的な検査と共にコンテンツのトランスコード前後のステージで徹底的な検査を行い、配信コンテンツの品質を担保できる。BATON の次のバージョン v.7.5 (5 月末リリース予定)も一足先に紹介。
- ・ORION-OTT モニタリングデモ (Live イベントストリーミング向け) : 大量のストリームのオーディオ/ビデオの品質検査とABR の整合性をリアルタイムに監視できる。Windows だけではなくLinux にも対応した。
- ・WINNOW デモ : AI、機械学習に基づくコンテンツの自動カテゴライズ化ソフトウェア、ユーザーが定義したルールに従って特定のシーンや画像を検出しタグ付けが可能。独自のコンピュータビジョンと機械学習アルゴリズムを活用して、ビデオサービスプロバイダのコンテンツ管理を手助けした。BATON の自動 QC システムとの連携が可能で、クラウドとオ

ンプレミス環境の両方に配備可能。

### ・VEGA メディアアナライザーデモ

エンコードされたストリームの詳細解析とデバッグツールの最新版デモAV1、最新の HEVC HM リファレンスコード、HEVC インターレース、VP9 (4:2:2, 4:4:4)PCAP、WebM、ALS オーディオ、Dolby AC-4 オーディオ、AVS Plus ビデオに対応。

### ■Nice People At Work 社

オンラインビデオに特化したQoE、ユーザージャーニー分析プラットフォーム

- ・YOUBORA Analytics : 自社動画配信サービスのQoE を把握する上で必要なあらゆる KPI データを提供する。パフォーマンスの最適化や迅速なトラブルシューティングを可能にする。
- ・YOUBORA Users : ユーザージャーニーの可視化自社サービスのユーザー (視聴者)の行動や好みを完全に把握し解約予測や1:1 のユーザートラッキングが可能。
- ・YOUBORA Infrastructure : 自社の規則に基づきCDN を自動で切り替えるCDN スwitchングツール。インフラコストとパフォーマンスの最適化ができる。



Interra Systems 社ブース

・YOUBORA Ads : 広告のパフォーマンスを偏りなく可視化し、AVOD モデルの広告戦略を再考する上で必要なデータを得ることで透明性を与える。

### ■NAGRA (旧NexGuard) 社

NexGuard ウォーターマーキングとアンチパイラシー (海賊行為対策) サービスとして以下の2 つのデモポッドがある。

Pod #1: ファイルとリニアコンテンツのウォーターマーキング配信

Pod #2: Liveスポーツイベントとプレミアム VODのOTTウォーターマーキングとアンチパイラシーサービス

OTT ウォーターマーキング向けに、Amazon Cloudfront CDN とインテグレートしたNexGuard ストリーミング製品のデモを行った。

## ローランド

同社ブースでは、4K HDR マルチフォーマット・ビデオ・スイッチャー「V-600UHD」を北米で初出展したのをはじめ、VR-1HDのMacとWindows用のリモート・コントロール・ソフトウェアの発表や、V-60HD、XS-62S、V-1HD、R-07などのアップデートを行った。

R-07はソフトウェア・アップデートVerion 1.1を紹介。PCや対応iOSデバイスのオーディオ/ビデオ編集ソフト上でUSBマイクやオーディオ・インターフェース、ヘッドフォン・アンプとして機能する。さらに、1台のスマートフォンリモコン・アプリで最大4台のR-07の遠隔操作が可能になり、一度に4台を録音開始させるなどの集中管理を実現している。

2019年夏公開予定のV-60HD Version 2.5では、V-60HDから、LAN経由でパナソニックPTZカメラの主なパラメータ制御を可

能にし、専用カメラコントローラーがなくても制御可能となる。

また、本年3月に提供開始されたV-800HD MK II Version 1.5では、PinPパラメータ(1%から0.1%、1%から1ドット)の超微調整、AUX BUS切り替え用のRS-232コマンド、およびマルチビュー画面でのPGM/PVW位置の変更が可能。また、AUX 10はPGMに割り当て可能で、より多くのテストパターンが利用可能。

さらに、V-1HD Version 2.0では、より多くのPinPパラメータを調整可能になる。メニュー・ナビゲーションが簡素化され、オーディオ・レベル・メーターがマルチビュー画面に追加される。iPad、MacおよびWindowsリモート・コントロール・ソフトウェア(V-1HD RCS)のアップデートも予定されている。

2019年3月に提供開始されたV-02HD



「V-600UHD」を中央に展示したブース



Version 1.1では、iPadリモートコントロール・アプリケーションからのコントロールに対応。簡単にビデオ入力を切り替え、オーディオのミックスし、設定を変更し、そしてプリセットメモリーを使って最大8つのカスタム・シーンを作成可能となった。

## Nevion

バーチャルIPメディア制作ソリューション提唱しているNevion社は、実際のケーススタディと、顧客に提供した実際のソリューションに基づくデモンストレーションを通してそのテクノロジーとサービスのストーリーを展示ブースにてプレゼンを行った。

IPへの移行が加速するにつれて、Nevionは既存および潜在的な顧客が、自分たちが直面している問題にどのように対処するか、または求めている利益を得ることができるかに関心を持つようになった。その結果、NABでは、これを説明する最善の方法は、顧客に対して行った作業の実際の例を共有すること、つまりストーリーを語る事が重要であると説明した。

Nevionは、2006年に最初のIP貢献ソリューションを提供し、2015年以来、施設にIPを提供するパイオニアとして活動してきた。これまで長い間、標準を定義し、変革的なメディアネッ

トワークを成功させNABでは、Nevionが施設のインフラストラクチャでのブロードキャストIP、ブロードキャスト、コントリビューション、リモートプロダクション(REMI)、地デジ、映画のポストプロダクション、政府系プロジェクトなど、いくつかのソリューションを説明するケーススタディを説明していた。

ブース訪問者は、複数あるデモポッドのいずれでも同様のデモと説明を受けられるように配置されていた。そこでNevionの主力製品であるVirtuoso(バーチュオース)とVideoPath(ビデオアイパス)をメインに実際インストレーション例をもとに説明を受けられるようになっていた。

新製品では、すでに出荷されている放送事業者マーケット仕様のVirtuoso FAメディアサーバーと新たに出荷が開始されたキャリアクラスVirtuoso MIを展示していた。処理密度と



ハードウェアの冗長性が特に重要となる、Tier 1/2(1次/2次請負)マネージドビデオサービスなどのキャリアアプリケーション向けに設計されているとのことであった。

VideoPathは、すでに世界でも有数の大手メディアネットワークで広く利用されておりNAB 2019で、Nevionは、強化されたスイッチベンダーサポート、NMOS、サードパーティ製機器サポート、モニタリングなど、VideoPathに追加された新機能をデモしていた。

さらに、NevionのチーフテクノロジストであるAndy Rayner氏による講演なども行われた。

## nevision Media Gateway to IP

ビデオプロダクション、ビデオ長距離中継伝送、放送スタジオのIP化ゲートウェイ各種インターフェースを取り揃えております。



### Virtuoso シリーズ

3GHD-SDI非圧縮、JPEG2000、TICO、ASI、H.264/AVC  
Media Gateway, IP Aggregation, Monitor...



### Flashlink IP シリーズ

非圧縮マルチプレックス SDI  
AES 67 IP オーディオ

非圧縮 16 HD-SDI I/O、SMPTE2022-6 IPコーデック  
+ eMerge 10GBE スイッチ・40 GBE データ・アグリゲーション、SMPTE2022-7 SIPS リダンダントパス構成



製造元：  
Nevion AS

輸入販売元：  
ネットワークエレクトロニクスジャパン 株式会社 ●TEL:03-5542-3260 ●http://www.network-electronics.co.jp

## ニッキャビ取扱い各社

■ **TBC Consoles, Inc. (USA)** : 国内においても高い人気を誇るTBC Consoles社。送出マスター、編集、サブなど映像業務において幅広く採用されているコンソールデスク「intelliTRAC」および「smartTRAC」、モニターアームの取り付けや豊富なオプション設定が可能で従来の映像業界だけではなく、セキュリティや証券などあらゆるシーンでご採用いただけるマルチモニターウォール「TracWall」も豊富な納入実績を従えて展示した。

■ **Plaber s.r.l. (Italy)** : plaber社製「HPRC レジンケース」は、耐水性、耐塵性、耐衝撃性、耐久性に優れた機能とイタリアならではのデザイン性を備えた樹脂ケース。

埃、粉じん、水、衝撃から収納機材を様々な

過酷な条件下でも保護するので、過酷なロケーション撮影や携帯用メディカル機器・ドローンなどのキャリング用としても最適でサイズや形状などのバリエーションも豊富で使用条件に合わせて選ぶことができる。その他現地では国内では見られないシリーズも数多く展示された。



TBC Consoles社「intelliTRAC」



Plaber社「HPRC レジンケース」



TBC Consoles社「smartTRAC」

## 朋 栄

「FOR-A World of Possibilities」(無限の可能性に向けて)をテーマを継続し、ブースを7つのエリアにてIP/12G-SDI対応製品など最新機器を展示。主な出展製品は以下の通り。

### 1. ライブプロダクションエリア

スタジアム、アリーナ、ホールなど、ライブ会場内の大画面演出を想定したライブ制作ソリューションを出展。Odyssey製ビデオサーバー、ClassX製リアルタイムCG製品を組み合わせたコストパフォーマンスに優れたライブ制作ソリューションを展示。

出展製品: 4K対応ビデオスイッチャー「HVS-490」、4K対応マルチビューワー「MV-4300」、マルチフォーマットルーティングスイッチャー「MFR-3000」、マルチチャンネルシグナルプロセッサ「FA-505」

### 2. スタジオプロダクションエリア

4K制作に対応する朋栄のスイッチャーラインアップを一堂に展示。eSports制作や、「HVS-2000」の持ち出しシステムなどについても紹介。

出展製品: 4K対応コンパクトビデオスイッチャー「HVS-100」、4K対応ビデオスイッチャー「HVS-490」、4K対応ビデオスイッチャー「HVS-2000」、12G対応ルーティングスイッチャー「MFR-1000」[新製品]、4K対応マルチビューワーMV-1220 [新製品]

### 3. IP/12G-SDIソリューションエリア

スタジオサブや回線設備などにおいて、SDI、IPを活用しながら、システムチェンジやリソース

シェアが可能なSDI/IP統合制御ソフトウェアなど最新製品/ソリューションを展示。

出展製品: SDI/IP統合管理ソフトウェア「SOM-100」[新製品]、12G対応ビデオスイッチャー「HVS-6000/6000M」[新製品]、12G対応ビデオスイッチャー「HVS-1200」[新製品]、12G対応デジタルスーパーキーヤー「DSK-4800」[新製品]、12G対応マルチビューワー「MV-4320」、12G/IP対応信号発生器「ESG-4200」[朋栄エレテックス製、新製品]、12G対応マルチパスシグナルプロセッサ「FA-9600」[新バージョン]、12G/IP対応ビデオサーバー「MBP-1000VS」シリーズ、12G対応アップ/ダウンコンバーター「USF-106UDC-12G」など: 各種12G対応モジュール製品、IPゲートウェイ「USF-10IP」シリーズ、TICOコーデックモジュール「USF-106TICO-12G」

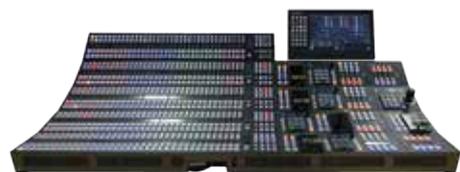


「FA-9600」

### 4. IPリモート制作ソリューションエリア

IPリモート制作に関連した製品を一堂に集めたエリア。米国にて販売代理店である富士通製品やメディアリンクス製品も展示する。

出展製品: LTO-8対応LTOサーバー「LTS-80」[新製品]、遅延時間調整装置「EDA-2000」[朋栄エレテックス] [新製品]、タイムラグチェッカー「EDD-5400」[朋栄エレテックス] [新製品]、H.265/HEVC対応エンコーダー/デコーダー「IP-HE950」[富士通]、インスタントリプレイシステム「Envivo Replay」[Variant System Group社]、メディアサーバー「Insight Server/Insight Mini」[Odyssey社]、マルチメディアIP伝送装置「MDP 3020」[メディアリンクス]、IPメディアゲートウェイ「MDP 3040」[メディアリンクス]



HVS-6000

### 5. HDRソリューションエリア

次世代映像制作に欠かせない機能となりつつあるHDR(ハイダイナミックレンジ)にフォーカスし、HDR対応シグナルプロセッサを紹介する。

出展製品: 12G対応マルチパスシグナルプロセッサ FA-9600 [新バージョン]、マルチチャンネルシグナルプロセッサ FA-505

### 6. フレームレート変換/解像度変換エリア

映像制作に欠かせないフレームレート変換、解像度変換に対応した製品を中心に紹介する。

出展製品: 12G対応マルチフォーマットフレームレートコンバーター「FRC-9100」[新製品]、12G対応フレームレートコンバーター「MCC-4K-A」[InSync社] [新製品]、4Kダウンコンバーター「IF4K-DNC」[InSync社] [新製品]、8Kアップコンバーター「IF8K-UCN」[InSync社] [新製品]、8Kフレームシンクロナイザー「IF8K-FSCC」[InSync社] [新製品]

### 7. カメラステージエリア

2/3" B4マウントを搭載した4K高速度カメラをはじめ、各種ライブ中継に欠かせない製品を紹介する。

フル4K高速度カメラ FT-ONE-SS4K [新製品] 4K切り出し装置「ZE-ONE」、リアルタイムフラッシュ軽減装置「RFC-ONE」、フリッカーコレクター「FC-ONE」、選手トラッキング装置「KTS-43」



FT-ONE-SS4K

2/3インチバヨネットマウントに対応したフル4K高速度カメラ。レンズコンバーターの装着が必要ないため、より明るい撮影、素早いフォーカスが可能。

## リーダー電子

高まる映像信号のIP化の需要と高画質化する映像信号に対応する新製品を展示。

IP化への対応は、昨年リリースした波形モニター LV5600/ ラスタライザー LV7600 の 4K-IP 対応オプション LV5600-SER06/ LV7600-SER06 を発表。

LV5600-SER06/LV7600-SER06は、4K 映像を非圧縮で伝送する SMPTE2110 に対応し、25Gb/s の伝送速度を持つオプションで、SMPTE ST2022-6、ST2110-20 の映像、ST2110-30 のオーディオ、ST2110-40 の補助データ、ST2059 の PTP 同期に対応している。さらに 4K-IP 出力対応パターンジェネレーターオプション LV5600-SER32/ LV7600-SER32 を追加すると、カラーバー等の各種テストパターンを出力し IP ネットワークの評価が行える。出力フォーマットは SMPTE 2022-6、SMPTE2110 に対応している。

高画質化する映像信号への対応では、新製品 8K 対応波形モニター LV5900 を展示。7680(8192)×4320 の 8K 映像を 12G-SDI QUAD LINK で受信する SMPTE ST

2018-12 に対応している。8K でカラーバー等のテストパターンも発生することが可能で 8K 映像の送信、受信環境を LV5900 1 台で実現することができる。HD 映像を HD から 3G-SDI まで 4 入力同時表示を行う機能や 4K 映像へも対応しているため、8K 映像だけでなくさまざまなシーンで使用可能な波形モニター。オーディオインターフェースは、MADI に対応している。また、8K 対応オプション LT4610SER24 を搭載したシンクジェネレーター LT4610 を展示。12G-SDI オプション LT4610SER02 に LT4610SER24 を追加することで 12G-SDI 8K のパターンを出力できる。



新製品 8K対応波形モニター「LV5900」



その他の新製品では、LV5600/LV7600 にカメラノイズメーターオプション LV5600-SER30/LV7600-SER30 を追加して展示。入力された SDI 信号の輝度信号、または RGB 信号に含まれるビデオノイズを測定するオプションである。新製品以外では、IP と SDI の同時測定やリップシンク測定など波形モニター/ラスタライザーの特長を前面に押し出したデモ、PTP オプションを搭載したシンクジェネレーター LT4610 やパートナー製品など、放送現場で力を発揮しうる製品を豊富に展示した。



4K対応 SDI & IP ハイブリッド波形モニター「LV5600」

## DPSJ (日本デジタルプロセッシングシステムズ) 取扱い各社

～ストリーミング・オンラインビデオ配信向け～

■NewTek : MediaDS (メディア DS) 革新的なリアルタイムのメディアエンコーディングおよびライブストリーミングビデオ配信プラットフォーム。

■Teradek : Cube 700 シリーズ (キューブ 700 シリーズ) HEVC、SRT 対応、最先端のライブビデオエンコーダ・デコーダ。

■NPAW : YOUTUBORA (ユーボラ) ビデオサービスにおけるビデオ分析、インテリジェントなビジネスを実現する包括的ソリューション

■Wowza Media Systems : Wowza Streaming Engine (ワウザ・ストリーミングエンジン) あらゆるデバイスにライブ & オンデマンドストリーミング配信。

■THEOplayer : THEOplayer (ジオ・プレイヤー) プラグイン不要。HLS 再生を実現する唯一の HTML5 ベース動画プレイヤー。

■Magewell : Pro / USB Capture Family (Pro/USB キャプチャファミリ) 高品質・多機能・リーズナブルなキャプチャ拡張カードとポータブル USB デバイス。

■Imagine Communications : Zenium™ (ジーニウム) 複雑なメディアワークフロー(トランスコードやエンコード業務) 基盤を提供する、業界唯一のクラウドネイティブ・マイクロサービスプラットフォーム。

～ファイルベース・放送局向けワークフロー～

■Zixi : Zixi Broadcaster (ジクシー・ブロードキャスター) ベストエフォートの IP ネット

ワークでも、放送クオリティの映像伝送を実現させる、QoS (Quality of Service) システム。

■Telestream : Vidchecker (ビドチェッカー) ライトに始められるファイル QC ソリューション。送出 & 配信前のファイルベースビデオのチェックに最適。

■DVEO : MultiStreamer (マルチストリーマー) コスト対効果に優れた Linux ベース / オープンソース ベース・オリジンエンコーダ。

■Quicklink : The Quicklink TX (ザ・クイックリンク・ティーエックス) Microsoft 社とのパートナーシップの基にデザインされた専用 Skype コール・レシーバー。

■Harmonic : Ellipse 3000、ProView 8100 (エリプス3000、プロビュー8100) 定番のコントリビューションエンコーダ & デコーダ。QoS ソリューションの Zixi にも対応。



NewTek ブース



Zixi ブース



Harmonic Ellipse 3000



Harmonic ProView 8100

## フォトン 取扱い各社



■EVS:ソフトウェアベース新サーバ「XS NEO」をインジェストアプリ「IPDirector VIA」と共に世界初展示。SDI/ST2110に加え24Pフレームレートもサポートする。また、新世代XNET「XNET VIA」「XHub VIA」も世界初展示。「AI」+「XONE」ソリューションもブースで紹介した。

■Vizrt:「Viz Engine」の最新版「Viz Engine 4」を発表。SMPTE 2110 やNDI, UHD, HDRといった様々なフォーマットへの対応はもちろん、ライブメディアに向けて、よりパワフルで、より高品質な描画エンジンとしてリリースされた「Viz Engine4」を、ブース内で30分おきに開催される「BIG AR Show」でも紹介。

■ROHDE&SCHWARZ: SMPTE 2110/ Dual-UHD をサポートし、新たにコーデックを拡張したマルチチャンネルインジェスト/プレアウトサーバ「VENICE-S」の最新バージョンを出展。IBCにて発表した新ストレージ「Spycer Node」は、VSA (Virtual Storage

Appliance)/ROHDE&SCHWARZ社製Device Managerの最新バージョンを搭載した最新の2モデル(24ディスク搭載2U/84ディスク搭載5U)を実機展示。また、ドルビービジョンの内蔵CMU(iCMU)、IMFのドルビーアトモス対応、IMF RDD-45 サポート(ProRes)をサポートした最新バージョンの「CLIPSTER Ver.6.8」を紹介。

■Telestream: ライブストリーミング、ワークフロー、クラウド、統合監視、などに関するTelestreamの技術を集結したクラウド向けの全く新しいワンクリックチャンネル作成ソリューション「OptiQ」を発表。また、「Vantage Cloud Port」も初出展した。

■GrayMeta: 機械学習とAIの力を活用してメディアワークフローの合理化を実現する「Curio」、プロフェッショナル向けメディアプレイヤー・コラボレーションツール「Iris」をAmazon Web Servicesブース内に展示。最新の技術情報を紹介。

■Blackmagic Design: 今年も先進的な新製品を多数展示。ブースでは「新製品紹介ツアー」「DaVinci Resolve ツアー」「4K・8K製品ツアー」を開催した。

■Digital Vision World: Pixit Media社のセントラルストレージソリューションとDigital Vision Worldのノンリニアカラーグレーディングシステム「Nucoda」の連携をPixit Mediaブースにて展示。従来の専用ストレージではなく、共有ストレージによる新たなワークフローの可能性を紹介した。

■MTI Film: 近日リリース予定のオンセット/ポストプロ向けデイリーアプリケーション「Cortex」の世界中のユーザーからのフィードバックを元に機能改善や新機能を実装した新バージョンv.5.1を出展。新ラインアップとして「Cortex Edit」、QA Toolsのみに特化した「Cortex QC(サブスクリプションベースのアプリケーション)」も紹介した。また、フィルムリストレーション「DRS(TM)Nova」では、新しいフィルターSHINEを発表した。

■OmniTek: ビデオテスト/計測製品「Ultraシリーズ(4K Tool Box, XR, TQ)」を出展。実機展示をおこなう新バージョンV4.1ソフトウェア(近日リリース予定)では、最大3G(UltraTQ)/12G(UltraXR)までのSDI、SMPTE2110/2022-6IP接続をサポート。新しい25G Embrionix SFPを使用してSMPTE 2110 IP接続で4Kに対応した「UltraXR」も展示紹介した。

## ビジュアルグラフィックス(国内NABプライベートショー開催内容)

■Adobe Creative Cloud Premier Pro: Adobe Premier Pro のNAB Show2019にて発表した最新情報を会場にて紹介(協力:アドビシステムズ株)

■VGI: Adobe CC Media Encoder対応分散トランスコードマネージャー「AME Render Manager」/Premier Pro NLE System Solution(協力: ATENジャパン株/プリミックス株/リーンフェイス株)

■Cinedeck: インサート編集ソフト「CineX-Plugin」Cinedeck kCineX-Pluginsは、Adobe Premier Pro CCまたはAvid Media Composerの書き出し機能を使用して、ビデオ、オーディオ、クローズドキャプションを一度書き出したファイルに対して直接インサート編集することが可能なソフトウェア。

■BLACKJET: TH3対応マルチメディアドックシステム「BLACKJET UX-1」は、SSD/CFast2.0/SONY XQD/CF UDMA/SDXC UHS-I&II/microSDといった多様なメディアカードにオールインワンで対応するメディアドックシステム。また、高速並列バックアップソフトウェア「Hedge」を参考出品(協力: NEWX)

■Edit Share: オートメーションQC(クオリティ・チェックシステム)「QScan」は、ビデオ、オーディオといったメディアファイルの品質をチェックし、QCフローのオートメーションパイプラインを形成するためのQCマネジメントソフトウェア。多数あるQC項目と、各品質レベルのしきい値からプリセットを作成、対象データを監視フォルダ内にドラッグ&ドロップするだけで自動的にスキャンを実行する。検査結果に準じ、ブラウザベースで検査結果を確認することは勿論のこと、PDFベースのレポート作成、検査後の自動データマイグレーション等、QCフローのパイプラインを形成する。

■Autodesk Flame: Autodesk FLAME Linux System 認定ワークステーションDell Precision 7920 Rack-BTOモデルを国内初展示。最新テクノロジーを多数採用したNew Hardware Systemのハンズオンによる最速パフォーマンスを会場にて紹介。

■PIXSPAN: 非圧縮データの最適化と効率化を実現した「PIXMOVER」&「VDrive」。フィルムスキャンやCG・VFXワークシーンに採用される連番ファイルやRAWファイル

の非可逆圧縮と解凍をマネージし、最大80%のデータ圧縮(.PXZ)を実現、拠点間やクラウドへのデータ転送、アーカイブ、コピーといった時間とコストのかかるデータフローを効率化する。サーバアプリケーションの「PIXMOVER」とAutodesk Flameと親和性の高いクライアントアプリケーション「VDrive」を使用したデモンストレーションを行う。

■Quadrus MAI (マルチチャンネル・オートマティック・インジェスター): マルチチャンネルビデオ収録ソリューションQuadrus Ingest Machineのターンキーシステム。1台で同時に最大8チャンネルのHD-SDI信号をファイル収録でき、各チャンネル毎に2種類のリアルタイムエンコードが可能。例えばメインとプロキシの収録ファイルを幅広いプロコーデックから選択して同時に生成できるため、収録から編集、プレビューなどの時間を一気に短縮できる。また、複数の保存先(NASストレージ、ローカルRAIDシステム、USB3.0ポータブルSSD/HDD)へ同時にデータを書き込めるため、バックアップや複数のストレージへのファイルコピーに時間を費やす必要がなくなった。

# オタリテック取扱い各社

## LAWO

オーディオコンソール/映像関連製品/IP 関連製品:世界中のブロードキャストの現場で使われる LAWO の製品は日本国内でも数多く導入されている。オーディオ・コンソールはもちろん、映像、コントロール、IP 関連機器と多岐にわたる。本展では LAWO 社の提案するリモート・プロダクションの世界を紹介。また、先日発表された最大144 のフェーダーをサーフェイス内に搭載可能なmc<sup>2</sup>56 のデュアルフェーダー・ヴァージョン、WAN 対応の新たな AoIP ステージボックス・シリーズ「A\_stage」の展示を行った。



LAWO mc<sup>2</sup>56

## Riedel Communications

インカム/IP 関連製品/光伝送関連:ワイヤレス・インカム「Bolero」よりベルトバックとアンテナのみで運用が可能なスタンド・アローン・ヴァージョンを展示予定。また、SMPTE ST-2110 に対応したリアルタイム・ネットワークMediorNet シリーズの「Micron IP」、さらに新しいデジタルマトリクスインターカムシステム Artist1024 を発表。



Riedel Artist1024



RIEDEL 社ブース

## Point Source Audio

ミニチュア・マイクロフォン:米国のミニチュア/ラベリア・マイクロフォン・メーカー Point Source Audio 社。

360 度曲がるブーム、水や汗やメイクに対する IP57 の防水防塵保護、簡単に付け替えできるねじ式のコネクタなどを特徴としている。NAB2019 では2つのエレメントを搭載した新型ラベリア・マイクを展示。

## Phonak

ワイヤレス送り返しシステム:イヤープース型・ワイヤレス・送り返しシステム世界的な補聴器メーカーPhonak 社のイヤープース型のデジタル・ワイヤレス・コミュニケーション・システム「Roger」を展示。

ライセンスフリーの 2.4 GHz 帯を利用した送り返しシステムの「Roger」はストレスフリーで小型のイヤープース型受信機、低ノイズで高いサウンド・クオリティ、簡単な設定を特徴とし、様々なアプリケーションで演出の邪魔にならずに最適なスタジオ・コミュニケーションを提供する。

## AVT (Audio Video Technology)

テレフォン・ハイブリッド:ドイツの AVT 社はテレフォン・ハイブリッドMAGIC TH シリーズを展示。



LAWO 社ブース

## Point Source [CM-i3]

コンサート、FOH、マルチメディア・プロダクション、双方向コミュニケーションが必要なコンサート会場などのプロフェッショナルな現場へ向けて開発されたインターカム・ヘッドセット。特許取得済みのスリムなデザインにより、ヘッドセット全体を外して環境音を確認するなどせず、シンプルにイヤフォンを外すことでリスニング・モードを切り替え、周りの環境音やオーディオ・ミックスをモニターできる。モジュラー方式の「CM-i3」インターカム・ヘッドセットはPSA 社のプロフェッショナル向け「EM-3」インイヤフォンを用いて設計されている。必要に応じてユーザーの方々はこのイヤフォンを個人的な音質嗜好に合うインイヤフォンに交換してカスタマイズすることもできる。このモジュラー方式の構造は製品の保守性と寿命を大幅に伸ばすことにも貢献する。



# ますます多様化するフィールドで応える柔軟さと確実性

**FB**  
FourBit  
株式会社  
**フォービット**  
〒358-0014  
埼玉県入間市宮寺 2720  
TEL : 042-934-7720  
FAX : 042-934-5664  
TEL : 042-935-0551 (営業部直通)  
URL : <http://www.fourbit.co.jp>

## PMX-1210

12 × 10 ポータブルデジタルオーディオミキサー  
税抜価格 ¥1,950,000



- アナログライクな操作性 見た目のままの安心感
- EIA19 インチラックに実装可能  
外形寸法 W420 × H160 × D460
- カスケード接続による入力チャンネル増設
- AC 電源と DC+12V 電源併用によるリダンダント動作
- マスターアウトのラウドネス計測機能
- TB マイク、モニタースピーカー 内蔵
- ビデオ同期/ワードクロック同期/デジタル入力同期